

「企業経営と人権 — CSRをふまえて —」

講師：近畿大学人権問題研究所・主任教授 北口 末広氏



(講演される北口氏)

1956年大阪市生まれ
京都大学大学院修了（法学研究科修士課程）国際法専攻
現在、大阪府同和問題解決推進審議会委員
三重県四日市市同和行政推進審議会委員
(財) おおさか人材雇用開発人権センター副理事長
(財) アジア・太平洋人権情報センター評議員
(財) 大阪市教育振興公社理事
(社福) リベルタ理事長
ニューメディア人権機構理事
NPO多民族共生人権教育センター理事 他多数兼任

協豊会東海地区は、2014年度計画の行事「レベル向上活動」のうち人権問題を主題にした講演を、平成27年2月10日(火)、トヨタ自動車(株) 本社サプライヤーズセンター5階大ホールにて、講師に近畿大学教授の北口末広氏をお招きし、「企業経営と人権」をテーマに開催しました。

講演会には、協豊会東海地区幹事をはじめ、東海地区のみならず関東・関西の会員会社をも含めた154社240名が参加し、最後まで熱心にお話しに聞き入った。

講演は、「差別問題、人権を考えると何が問題となるのか、という基準を考える必要がある」ことから始まり、具体的な例を幾例も挙げながら「『何を、誰が、いつ、どこで、何のために、どのように』という『5W1H』をしっかりと把握することが大事である」と述べられた。続けて「差別を生む社会システムが分かったら、そのシステムを無くすだけでは不十分で、植えつけられた差別意識を取り除くための社会システムを創造、確立する必要がある」と説明され、問題解決には「『①事実認定②問題点の整理③背景、原因の整理④課題の整理⑤実践』という一連の流れがある」と述べられた。そして最後に、採用面接時の差別につながる質問事項の確認をして講演を締めくくられた。



(開会挨拶される相羽幹事)



(熱心に聴講する参加者)